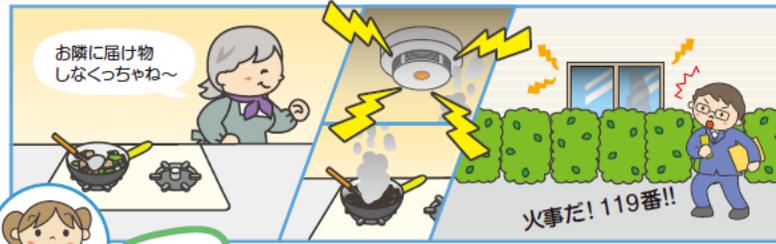


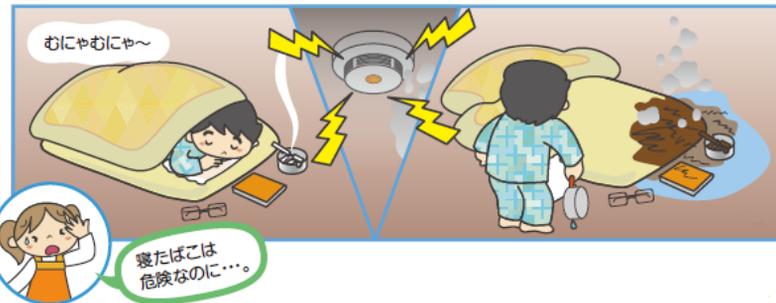
# 住宅用火災警報器の設置により 大事に至らなかった事例が数多く報告されています。

## 事例1 コンロを消し忘れて外出してしまい…



コンロを消し忘れて外出してしまい、鍋を空だきしたが、台所の住宅用火災警報器が鳴り、家の近くを通りかかった人が気づき、大事に至らなかった。

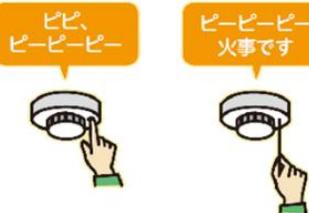
## 事例2 眠る前にタバコを吸ってしまい…



布団に着火したが、住宅用火災警報器が鳴って目が覚め、煙が出ていた布団に水をかけて消火し、大事に至らなかった。

住宅用火災警報器が電池切れしたり、故障していないか  
ボタンを押すか  ひもを引いて  確認しましょう。

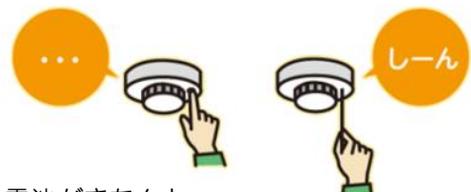
正常をお知らせするメッセージ  
または火災警報音が鳴る。



警報音はメーカーや製品により異なります。

引き続き1か月に1回  
作動確認をお願いします。

音が鳴らない。



電池がきちんと  
セットされているかご確認ください。

電池切れか機器本体の故障です。  
取扱説明書をご覧ください。

住宅用火災警報器は10年を  
目安に交換をオススメします。

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。  
10年を目安に交換しましょう。



住宅用火災警報器 交換のおすすめ  
**10年たったら、  
とりカエル。**